

2023年4月11日

各 位

会社名 株式会社インターアクション
 代表者名 代表取締役社長 木地 伸雄
 (コード番号 7725 東証プライム市場)
 問合せ先 経営企画室 I R 担当
 電話番号 045-263-9220

2023年5月期通期連結業績予想の修正及び通期個別業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2023年1月12日に公表いたしました2023年5月期通期連結業績予想を下記の通り修正することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

また、個別業績の予想値につきましては、2022年7月12日に公表いたしました「2022年5月期決算短信〔日本基準〕(連結)」では開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比において、その差異が適時開示基準に達する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2023年5月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年6月1日～2023年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,623	2,200	2,224	1,459	133.96
今回修正予想(B)	6,735	1,524	1,576	999	91.72
増減額(B-A)	△887	△676	△647	△460	
増減率(%)	△11.6	△30.7	△29.1	△31.5	
(ご参考)前期実績 (2022年5月期)	6,017	1,130	1,196	761	69.58

〈修正の理由〉

主に IoT 関連事業セグメントにおいて、海外顧客向け光源装置及び瞳モジュールが当初想定していた需要の増加まで至らず、予想していた販売数量を下回る見込みとなりました。要因としては、スマートフォン等の最終アプリケーションにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大により近年は買い替えサイクルが鈍化していたことに加え、2022年の中国におけるロックダウン等の影響によって部材不足の状況に陥り、スマートフォンの生産数量が減少傾向にあったこと等から、当社の顧客であるイメージセンサメーカーの設備投資が一時的に慎重な状況になったためであると認識しております。

その結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、スマートフォンの出荷数量及びイメージセンサの市場は、2024年以降イメージセンサの用途拡大及びハイエンドデバイスの普及によって緩やかに回復していくとの市場予測もあり、中長期的な事業環境は堅調に推移すると推測しております。また、IoT関連事業セグメントにおける一部の主要顧客においては、来期以降のタイミングで設備投資が活発になると想定しており、潜在的な設備投資需要は引き続き旺盛であると考えております。

2. 通期個別業績予想の公表

2023年5月期 通期個別業績予想数値の公表（2022年6月1日～2023年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期（2022年5月期） 実績（A）	百万円 3,969	百万円 1,119	百万円 1,205	百万円 807	円 銭 73.81
当期（2023年5月期） 予想（B）	4,334	1,442	1,569	1,051	96.48
増減額（B－A）	365	323	363	243	
増減率（%）	9.2	28.9	30.1	30.2	

〈新たに予想することとなった理由〉

主に海外顧客向け光源装置の販売について、「1. 通期連結業績予想の修正」に記載のとおり期初予想に対する実績は下回る見込みとなったものの、前期実績値に対して当期は販売が好調に推移しております。

その結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は前期実績を上回る見込みとなりました。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は環境の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上